

平成27年5月29日
水産庁

水産物の市況について(平成27年5月及び6月)

—東京都中央卸売市場における平成27年5月(平成27年4月21日～平成27年5月20日集計)の市況と、
平成27年6月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成27年5月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月並みとなり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月並みに推移しました。

II 平成27年6月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入梅いわしの需要期となることから、入荷量はやや増加と見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。
(主漁場は鹿島灘～犬吠埼沿岸)

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、漁獲されているサイズが小さいことから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、漁期に入ることから、前月と比べ大幅に増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

盛漁期が続くことから、入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、需要が落ち着いてきたことから卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	5月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
27年	41	937	42	949	38	945
前年	44	893	47	898	40	894

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	5月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	269	80	71	69
さけ・ます(平均)	748	98	85	112
(ぎんざけ塩蔵品)	811	100	94	118
(あきさけ塩蔵品)	659	100	124	128
(ときさけ塩蔵品)	820	100	86	99
(べにざけ塩蔵品)	997	100	96	124
(さけ類冷凍品)	720	100	83	114
さば(生鮮品)	334	104	101	92
するめいか(平均)	533	103	109	114
(生鮮品)	611	99	123	113
(冷凍品)	450	100	94	114
あじ(生鮮品)	578	77	103	105
まぐろ(冷凍品)	1,382	95	100	103
(めばち冷凍品)	1,008	101	102	104
(きはだ冷凍品)	904	101	103	102
(くろまぐろ冷凍品)	3,962	100	99	109
(みなみまぐろ冷凍品)	2,091	96	92	94
かつお(生鮮品)	598	82	93	68

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:5月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成22年～26年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 大橋、原、安井

直通 03-3591-5612